



栃木県では、障害のある人たちが気軽に利用でき、障害者スポーツを通して地域の人々と交流できる障害者スポーツの拠点となる「障害者スポーツセンター（わかさアリーナ）」が完成しました。アリーナはバレーボールコートが2面取れる他、サウンドテニールテニスの試合室が2室あります。また、各種のトレーニング設備も整っています。

平成28年8月6日のオープン記念式典では、栃木県知事のあいさつに続き、本県在住でリオデジャネイロ・パラリンピックのボート混合ダブルスカル日本代表の駒崎

障害者スポーツセンター完成で活性化

茂選手への激励も行われました。式典後のエキシビジョンとして、シッティングバレーボールの試合もありました。写真。この時は、身長208センチでバルセロナオリンピックに出場した経験のある元全日本男子バレーボール代表選手の大竹秀之選手が試合にフル出場してくださり、会場全体が盛り上がりました。

また、車いすバスケットボールの体験コーナーもあり、障害のある人も障害のない人も共に楽しいひとときを過ごすことができました。

東京パラリンピックを盛り上げるため、3月12日には駒沢オリンピック公園陸上競技場で「パラ駅伝inTOKYO2017」が行われます。栃木県代表として県立聾学校高等部の生徒が選出され、強化練習会等で頑張っています。

このように、栃木県では障害者が積極的にスポーツを行うことができるよう取り組んでいるとともに、より多くの障害者スポーツ選手が活躍することを願っています。
(手塚一郎・栃木県立聾学校校長)